

お茶の京都エリアをお得に満喫!お茶の京都Teaポイント

お茶の京都Teaポイントをお得に楽しむ方法

STEP 1

まずは「お茶の京都 Tea ポイント」に登録!



登録用QRコードから必要事項・アンケートを入力

必要事項を入力

登録完了!

※登録したメールアドレスに、特典当選の場合の通知やお茶の京都の旬な情報が届きます。

STEP 2

お茶の京都エリアを巡ろう!



スポット画面でポイントスポットを探そう!

マップ/リスト表示切り替え可能

GPS

スポットでGPSを読み込んで、ポイントをゲットしよう!

STEP 3

ポイントを貯めて特典の抽選に応募!



特典情報画面で特典を確認!

ポイントを貯めて特典の抽選に参加!

※特典の内容は時期によって異なります。

必要事項を入力

応募完了!

ポイントを集める際は毎回同じブラウザでアクセスしてください。アプリ内ブラウザなど、ブラウザ以外のアプリでは参加できません。必ずサポートしているブラウザでアクセスしてください。 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ことよりモールとは

ことよりモールは京都フィナンシャルグループがおすすめする京都の逸品やことより限定商品など様々な商品を取り揃えております。今回の特典商品もすべて、ことよりモールでお買い求めいただけます。

<https://www.kyotobank.co.jp/ecmall/>

ことよりモール 検索



1,000ポイント集めるごとに、何度でも抽選にご応募できます!どれが当たるかはお楽しみ!



生チョコほうじ茶
2種類ブレンドしたベルギーチョコレートと宇治のほうじ茶香る口溶けよいほうじ茶生チョコです。【ほうじ茶】宇治の玉露茶ほうじ茶使用。香ばしいほうじ茶の香りとベルギーミルクチョコレートとスイートチョコレートを合わせました。



碾茶ティーパック
【碾茶(てんちゃ)】とは…覆いをした茶園で直射日光を避けて育てた新芽を蒸した後、揉まずに乾燥させたお茶です。香り豊かで、まったりとした旨味があり、碾茶を粉にしたものがお抹茶となります。



お家バルにぴったり!鹿肉加工品セット
「ジビエってどう調理すれば良いかわからない...」「臭みや硬さが気になる...」というイメージありませんか?この加工品セットは、おうちで手軽に美味しくジビエをお楽しみいただける商品です。ハムとジャーキーはそのままで、ソーセージは焼くだけでお召し上がりいただけます。

ことよりポイント5,000円分

村抹茶のパウンドケーキ

お茶スパイス「食べる茶」

宇治抹茶40グラム

お茶の京都エリアを楽しく巡って、たくさんご応募ください。さらに年内は『寛永行幸』関連スポットがポイントアップ中!一気にポイントを貯める大チャンスですので、ぜひ足を運んでみてくださいね!

抽選は前期(10/1~12/15) 後期(12/16~2/23)の2回実施

一般社団法人京都山城地域振興社(お茶の京都DMO)
TEL 0774-25-3239[平日8:30-17:15] dmo@ochanokyo.jp

お茶の京都の
情報はこちらから▶



日本遺産を 巡って・食べて・お得に楽しむ

お茶の京都 Tea ポイント デジタル スタンプラリー

2026.10.1[THU]~
2027.2.14[SUN]まで



お茶の京都の魅力あふれるスポットを巡って
ポイントを獲得しよう!

集めたポイント数に応じて、
素敵な賞品に応募できます。



スタンプスポットガイド Stamp Spot Guidebook

ようこそ、お茶の京都へ。

京都府南部に位置する山城地域は、日本茶のふるさと。

800年を超えるお茶の歴史を誇る「お茶の京都」です。

もちろん、お茶だけではなく。

この地域だからこそ楽しいスポットが新しい出逢いを待っています。

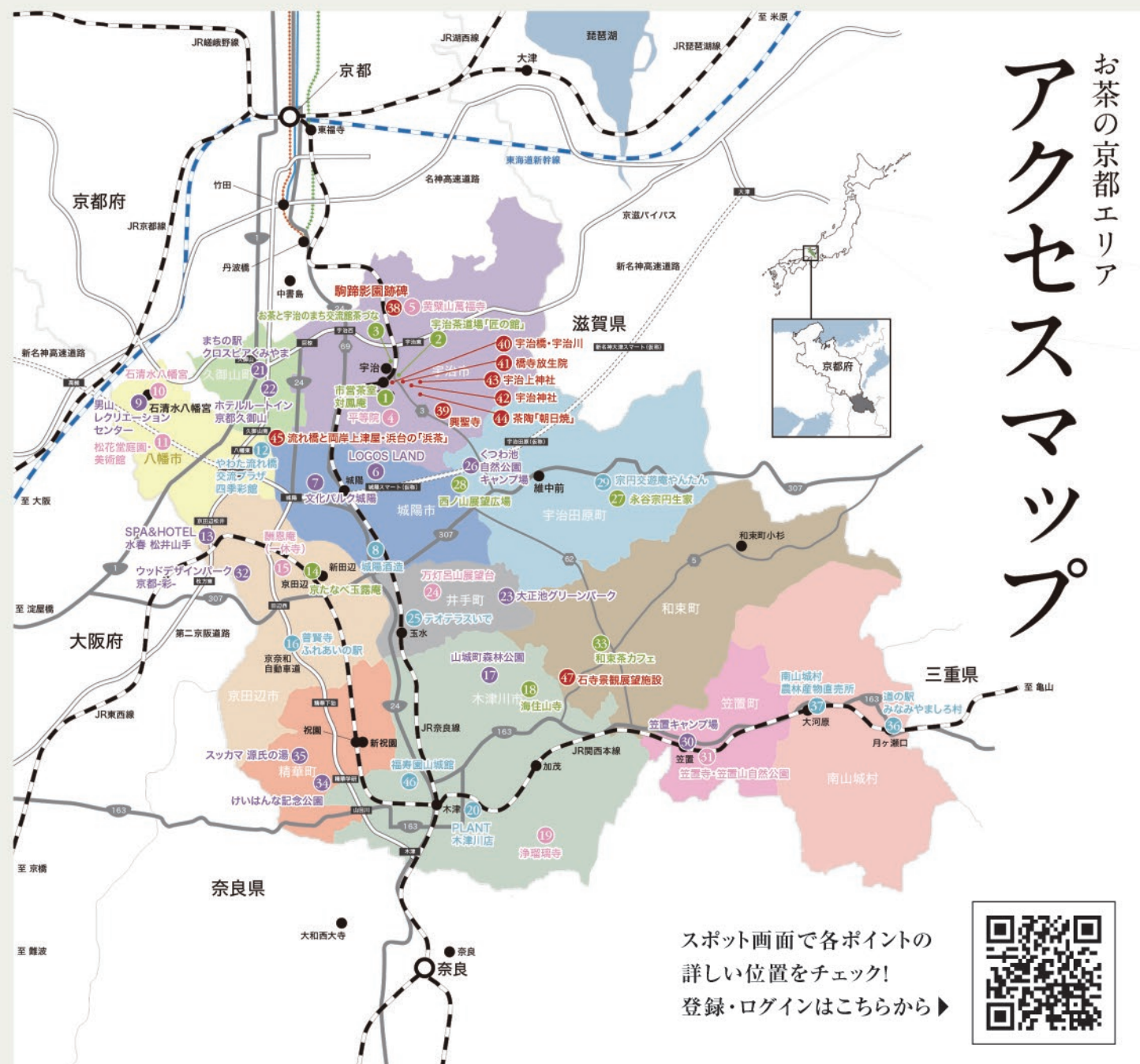


令和8年(2026)は寛永行幸から400年の節目の年であることを記念して、年内は寛永行幸関連施設を400ポイントUPにします！

寛永行幸とはー

寛永3年(1626)、後水尾天皇が徳川秀忠・家光の招きで二条城へ赴いた歴史的行事「寛永行幸」。

豪華な饗応と華麗な行列は、民衆に朝廷と幕府の融和と幕府の威光を強く印象付け、京都に寛永文化が広がる契機となりました。



お茶の京都Teaポイントの楽しみ方は裏表紙をご確認ください

日本遺産

宇治茶800年の旅へ。
抹茶、煎茶、玉露のはじまりを、いっしょにたどってみませんか。

↑ 100ポイント

38 駒蹄影園跡碑



【宇治茶発祥の地『駒蹄影園跡碑』】

13世紀、栄西禅師が中国からもたらした茶の栽培方法を、明恵上人が宇治の里人に伝えたといわれる、本格的な宇治茶生産の始まりの地。ここに『駒蹄影園跡碑』が建っている。

梶尾から茶の木を移植した際、植える間隔に悩む里人に、明恵上人が馬に乗って畑に乗り入れ、その蹄の跡に茶の木を植えるよう教えたという伝説が残る。宇治茶の歴史を感じられるスポット！



39 興聖寺 寛永行幸

【宇治七名園「朝日茶園」の地に再興された「興聖寺」】
宋から帰国した道元が、1233年に曹洞宗最初の寺院として創建。その後廃絶したが、1648年に宇治七名園の一つとして知られた「朝日茶園」の地に再興された。毎年10月の「宇治茶まつり」では、「茶口切の儀」や境内の茶笏塚前での「茶笏塚供養の儀」が行われている。
拝観受付時間：午前10時～午後4時（行事により入山規制あり）



40 宇治橋・宇治川

【日本三古橋のひとつ「宇治橋」】
646年に架けられたとされる、日本三古橋のひとつ。橋の西詰にある茶店「通園」の主は、名水と言われる宇治川の水を「三の間」から汲み上げ、伏見城の豊臣秀吉のもとに届けたといわれている。
奈良時代以前からの水陸交通の要衝で、菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)や橋姫の伝承、源氏物語、宇治川合戦、源頼政・扇の芝など、数々の物語や歴史の舞台となった話題豊富なスポット！



41 橋寺放生院

【宇治橋を管理した「橋寺(放生院)」】
名水汲み上げの儀を行う宇治橋を管理していたことから、「橋寺」と称される寺。
境内には、松尾芭蕉の句「木がくれて茶摘もきくや時鳥」を刻んだ句碑が残されている。宇治の歴史と俳諧の風情を感じられるスポット！
【拝観時間】：午前10時～午後4時
【拝観受付】：午後4時まで
御守御朱印：午後4時30分まで



42 宇治神社

【「宇治茶まつり」ゆかりの古社「宇治神社」】
異母兄の仁徳天皇に皇位を譲るため自害したといわれる菟道稚郎子命(うじのわきいらつこのみこと)を主祭神とする神社。「宇治茶まつり」では、宇治神社の宮司が宇治橋三の間で「名水汲み上げの儀」を奉仕する。
参拝時間：境内自由
祈禱受付：午後4時まで
御守御朱印：午後4時30分まで



43 宇治上神社

【日本最古の本殿をもつ「宇治上神社」】
宇治川東岸の大吉山(仏徳山)の山裾に鎮座する神社。神社建築としては日本最古(平安時代後期)の本殿は国宝に指定され、世界文化遺産「古都京都の文化財」にも登録されている。古くは隣接する「宇治神社」と二社一体の存在だった。境内には「桐原水(きりはらすい)」と称される湧水があり、唯一現存する「宇治七名水」を今に伝えるスポット！
御守・御朱印受付は午前9時から



44 茶陶「朝日焼」

【小堀遠州ゆかりの名陶「朝日焼」】
室町時代の七名園の一つ「朝日茶園」の地で、約400年前、小堀遠州の指導を受け「朝日」の印を与えられた名陶。約20もの工程を経てつくられる急須には、「おいしくお茶を楽しんでもらいたい」との思いから、お茶の味を最大限に引き出す工夫が詰まっている。
陶芸教室ではお茶の器づくりも体験できる、宇治茶の文化を五感で味わえるスポット！
【Shop&Gallery】
営業時間：午前10時～午後5時
定休日：月曜日（祝日の場合は翌日）、毎月最終火曜日



45 流れ橋と兩岸上津屋・浜台の「浜茶」

【時代劇でおなじみ「流れ橋(上津屋橋)」】
木津川では川を挟んで両岸に茶畑が広がった。時代劇のロケ地として有名な「流れ橋(上津屋橋)」がある地域は、左岸の八幡市と右岸の城陽市側がともに「上津屋」と呼ばれる。昔は上津屋村として一つの共同体を形成し、一体となって茶栽培に取り組んできた。両岸は、今も「流れ橋」でつながり、密接な関係が続く。宇治茶を育んだ木津川の歴史と、風情ある景観に出会えるスポット！



47 石寺景観展望施設(石寺の茶畑)

【天空に広がる絶景茶畑「石寺の茶畑」】
和東川を挟んで位置する石寺の茶畑は、谷底を通る主要道路からは見えないが、集落を上がっていくと、想像もできないような素晴らしい山なりの茶園の景観が広がる。石寺景観展望施設からは、茶畑が続く独特の景観を望むことができ、駐車場からも楽しめる。ただし、ここは観光地ではなく、農家の方々の私有地。10月は茶の収穫時期でもあるため、地域を尊重し、持続可能な観光を心がけたいスポット！

寛永行幸 寛永行幸関連施設(2026年内は400ポイント)

6 LOGOS LAND



【外で、遊んで、食べて、泊まる】

あのアウトドアブランド「LOGOS (ロゴス)」が手がけるアウトドア体験型テーマパーク。
全天候型キャンプホテルに、「ロゴス ファミリーレストラン」や、BBQとたき火が楽しめるテラスもあるのでグルメもバッチリ。
広大なアウトドアフィールドには、最長140mのローラースライダーや、大型アスレチック、新感覚トランポリン「ふわふわドーム」などがあり、広大な芝生ではピクニックも楽しめる。
アウトドアを楽しむのもよし、グルメを堪能するのもよし、ワークショップで学ぶのもよし。
家族や仲間と一緒に、楽しい時間を過ごそう！
営業時間 (LOGOS LAND 園内)：午前9時～午後6時
※季節変動あり



文化パーク城陽

【親子で楽しむ星と文化の複合施設】
一番のおすすめは、関西最大級 (ドーム径23m) の巨大プラネタリウム (満天の星に子どもたちも大興奮。専門スタッフの解説やお子さま向けの番組など、多彩なプログラムを楽しめる。4歳未満は無料なのもうれしい。図書館や歴史民俗資料館、小学生以下の子どもたちが遊べるプレイルームも併設されており、家族が遊びながら学びと発見を楽しめるお出かけにぴったりのスポット。
受付時間：午前9時～午後5時 (開館時間：午前9時～午後10時)
休館日：月曜日 (祝日の場合は翌日)、祝日の翌平日、12月28日～1月4日



まちの駅 クロスピアくみやま

【「まちの駅」にも寄って行こう！】
久御山町の産業拠点「クロスピアくみやま」では、地元の特産品やおいしいパンも販売。コワーキングスペースは、Wi-Fi・電源完備。防音個室ブースもあるので、ここでYouTube撮っちゃいますか。
利用時間：午前9時～午後10時
休館日：月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日) 及び12月29日～1月3日



笠置キャンプ場

【木津川を満喫♪】
国道163号線沿い、木津川にかかる笠置大橋のすぐ横に広がる河川敷のキャンプ場。河川敷まで車で入ることができ、多くのキャンパーで賑わいます。全面フリーサイトで、好きなところにテントを張れて、近隣にはキャンプ道具のレンタルや薪の購入ができる店舗も。また、周辺はカヌーやボウダリングも楽しめる、エリア随一のアクティビティスポットです。
入場時間：午前8時～午後5時



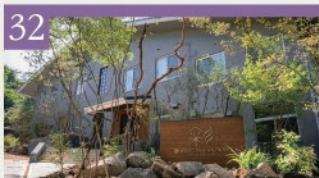
男山レクリエーションセンター

【スケートボードパークも新設！外で遊ぼう！】
施設内には、フットサル用の多目的コート・ロッジ・キャビン・テニスコート・ゆうぎ広場に加え、スケートボードパークも開設。BBQで利用できる食事場もあり、テント設営場ではテントの貸出も。
開園時間：午前9時～午後9時 (受付は午後8時まで)
休園日：8月を除く第2月曜日 (祝日の場合は翌日) および12月29日～1月3日



ホテルルートイン京都久御山

【無料平面駐車場完備。30品目以上の朝食バイキングと天然温泉大浴場】
京滋バイパス久御山ICからすぐの好立地。イオンモール久御山も近く、観光利用も◎。心地よい客室と天然温泉でゆったりと。



ウッドデザインパーク京都-彩-

【自然体験型アウトドア複合施設「ウッドデザインパーク京都-彩-」】
都市部からアクセスしやすい立地でありながら、豊かな自然に囲まれた環境で、宿泊・BBQ・キャンプサイト・サウナ・アスレチック・クラブ体験まで、彩りあるひとときを楽しめる。
日帰りBBQは手ぶらでも持ち込みでもOK。準備・片付け不要で、グリル着火もスタッフが対応。八角形屋根の「メインサイト」、屋根付きの「テラスサイト」、グランピング気分の「プライベートテントサイト」から選べる。家族や仲間、ペットと気軽に過ごせるアウトドアのテーマパーク！



SPA&HOTEL水春 松井山手

【日帰りでも楽しめる、極上の天然温泉付きSPAホテル】
温泉や館内施設を楽しんだ後は、こだわりの寝具を用いた客室で快適に宿泊。地域最大級の岩盤浴エリアや快適なリクライナーエリアも完備。日帰りでも癒される上質のスパホテルです。



大正池グリーンパーク

【三角屋根のバンガロー】
平成の名水百選「玉川」の源流にあり、京都府景観資産にも登録されている「大正池」には、遊歩道や浮御堂などが整備されています。バンガローやキャンプサイト、屋根付きBBQスペース、シャワー室もあり、アウトドアが存分に楽しめます。
営業時間：午前9時～午後5時 (受付開始は午前9時30分)
休館日：水曜日



けいはんな記念公園

【文化と自然を大切にしたい水と緑のあふれる公園】
日本の里の風景をテーマとして、無料エリアには遊具広場、棚田を模したデザイン芝生広場、谷あいがあり、有料エリアには、観月橋から巨石群や紅葉谷、永谷池など庭園全体を見渡せる現代の回遊式日本庭園の水景園と、かつて里山として利用され、人の生活を支えてきた芽ぶきの森があります。季節ごとの景観を楽しめます。
水景園開園時間：午前9時～午後5時 (入園は午後4時30分まで)
休園日：12月28日～1月4日



山城町森林公園

【川のせせらぎ・山のひととき】
耳をすませば小鳥のさえずりや川のせせらぎが聞こえる、自然いっぱいの森林公園。キャンプ場のほかにもバンガローやログハウスといった宿泊施設もあり、ゆっくりと自然を楽しむことができます。材料やコンロを持ち込めばバーベキューも楽しめます。総合案内所営業時間：午前8時30分～午後5時 (BBQ、デイキャンプも同時開)



くつわ池自然公園キャンプ場

【都市近郊のオアシス】
南北の2つの池の形が馬具の「くつわ」に似ていることからその名が付けられた「くつわ池」。池を取り囲む40haの敷地には、6箇所のキャンプ場とバンガロー、バーベキュー棟、遊具、水上デッキ、散策路などが整備され、自然を満喫しながらアウトドアを楽しめる森林公園です。
【営業時間】・11月第2月曜日～2月25日 午前8時30分～午後4時
・2月26日～11月第2日曜日 午前8時30分～午後5時 【休業日】年末年始



スッカマ源氏の湯

【日本初！韓国伝統サウナ「スッカマ」と美肌の湯が融合した街の湯治場】
遠赤外線でお肌から温まる本格的な古式サウナを日本で初めて再現。4種類の岩盤浴を備えたチムジルバンや、関西初の北投石を導入した天然温泉、高濃度炭酸泉も完備。心と体をゆっくり癒やせる、充実の複合型温浴施設です。

36 道の駅みなみやましろ村



【道の駅でお茶三昧！】

南山城村特産のお茶を使った土産、スイーツ、グルメが満載の道の駅。
濃い抹茶・おくみどりを贅沢に使用した抹茶天重や抹茶そばが味わえる「お茶づくし御膳」や、野菜たっぷりトマトベースのカレーと香ばしいほうじ茶飯とのコンビネーションがたまらない「村カレー」などなど、京都府唯一の村「南山城村」を堪能しよう。
直売所：午前9時～午後6時 (年中無休)
食堂：午前11時～午後4時 (土日祝のみ朝食時間帯営業：午前8時～午前10時)



城陽酒造

【山城地域唯一の造り酒屋】

奈良街道沿いにある、明治28年 (1895) 創業の老舗酒蔵。砂質土の山が連なるこの辺りは水がキレイなエリアで、木津川の伏流水で仕込む酒は、京都の和食に合うまろやかな味わい。清酒の代表銘柄「純米大吟醸 城陽」や、地元青青梅林の梅のみを使用した梅酒が有名。
直売店営業時間：午前9時～午後5時
休館日：日、祝日および12月31日 (12月は日祝日も営業 (31日を除く))



テオテラスいで

【自然と人がつながる、憩いの空間】

広々としたテラスで、四季折々の風景を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごせます。
地元の新鮮な食材を使ったカフェや、地域の特産品が並ぶマルシェなど、魅力が満載です！
営業時間：午前9時～午後6時まで (カフェは午後5時まで)
休業日：月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日) および年末年始



やわた流れ橋交流プラザ 四季彩館

【木津川の流れとともに】

地元で採れる旬の新鮮野菜や加工品を販売する直売所や、地元野菜をふんだんに使ったランチビュッフェや本格会席が楽しめる「八幡家」も併設。
時代劇のロケ地として有名な「流れ橋」の探索と合わせて楽しみたい。
営業時間：＜農産物直売所＞午前9時30分～午後4時30分
＜八幡家＞午前11時～午後3時30分 (L.O. 午後2時50分) (夜予約)



宗円交遊庵やんたん

【日本緑茶発祥の地で、ほっこり癒しのひとときを】

地域の観光情報収集はもちろん、抹茶ソフトを食べたりお茶のおみやげをGETしたり。
茶農家さんが教えてくれる抹茶石臼挽き体験などの体験 (要予約) もオススメ！
営業時間：夏季 午前10時～午後5時 (3月～10月)
冬季 午前10時～午後4時 (11月～2月)
定休日：水・木



普賢寺ふれあいの駅

【旬の農産物の美味しさをどうぞ】

国内最高峰の国際自転車ロードレース「ツアーオブジャパン」では、スタート地点にもなるお土産スポット。
お茶はもちろん、新鮮野菜、季節の加工品などがそろう。
お弁当やパンは人気ですぐに売り切れてしまうので、早めに到着するべし。
営業時間：午前8時～午後3時
定休日：水曜日



南山城村農林産物直売所

【お茶はもちろん、採れたて野菜や村人手作りの加工品も】

生産者が愛情一杯育てた、採れたて新鮮な野菜をはじめ、原木栽培しいたけ、トマト、煎茶など村の特産物や、味噌、こんにゃく、お漬物、お茶を使った加工品などなど、南山城村ならではの品に出会えます。
営業時間：＜平日＞午前9時～午後1時
＜土日祝＞午前9時～午後3時
休館日：月曜日・火曜日



PLANT木津川店

【木津川市の特産品に出会える】

「きづがわ地マルシェ」コーナーには、木津川市産の野菜や木津川市ならではの加工品・お土産などが集まる。
新鮮な野菜・果物はもちろん、お茶やお菓子、パンなど、地域の味に出会えるスポット！
駐車場では、フリーマーケットやスイーツカーニバルなど、特別なイベントが開催されていることも。
営業時間：午前9時～午後10時



福寿園山城館

日本遺産関連

【お茶のテーマパーク「福寿園 山城館」】
木津川水運の要衝として栄え、約30軒の茶問屋が連なる「上粕茶問屋街」。その一角にあるのが、伊右衛門で知られる宇治茶の老舗「福寿園」が創業の地に整備した、全国でも珍しい“五感で楽しむ宇治茶の体験空間”です。
約2万㎡の広大な敷地には、1万本の茶畑や昔ながらの茶問屋街が広がり、製茶の工程やお茶の歴史を学べます。高級玉露や宇治茶スイーツも堪能できる、お茶の魅力がたっぷり詰まったスポットです！
営業時間：午前10時～午後4時 (受付時間は午後3時30分まで)
休館日：月曜日・火曜日

27 永谷宗円生家

日本遺産



【日本緑茶がはじまった場所】

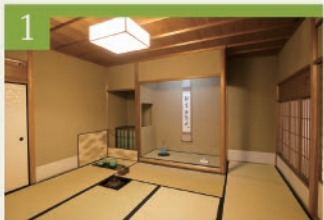
山あいの細い谷筋に茶問屋や茶農家が軒を連ね、日本遺産の構成文化財となっている湯屋谷（ゆやだに）エリア。

緑茶を発明した永谷宗円（ながたに そうえん）の生家のほか、永谷宗円を茶の祖として祀っている茶宗明（ちゃそうみょう）神社や湯屋谷の茶農家、茶問屋の街並みなど、歴史ある茶どころをのんびり散歩してみよう。

営業時間：午前10時～午後3時。

内部見学は土日祝日のみ。

定休日：不定休



市営茶室 対鳳庵

【茶処宇治ならではの市営の茶室】

本場の宇治茶を気軽に楽しめる宇治市の茶室。平等院の鳳凰堂の向かいにあるので、「対鳳庵」と名付けられました。宇治茶と季節のお菓子が気軽に楽しめます。開席時間：午前10時～午後4時（最終受付：午後3時30分）休席日：12月21日～1月9日、毎月末日（末日が土曜日・日曜日、祝日の場合は月末の最終平日）



宇治茶道場「匠の館」

【宇治川のほとりで茶の匠の味わいと静かなひとときを】

日本茶インストラクターやアドバイザーの丁寧なアドバイスのもと、お茶の淹れ方を体験しながら学ぶ宇治茶専門店。雄大な宇治川の景色を眺めながら「世界でひとつの喫茶室」で、これぞ宇治茶という味を堪能できます。営業時間：午前11時～午後5時（最終受付：午後4時30分）休館日：水曜日、12月29日～1月4日、8月14日～8月16日



お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

【ようこそ、宇治茶の世界へ。】

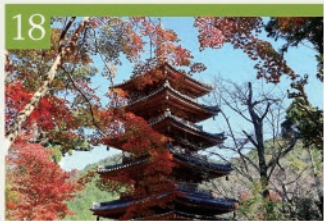
展示と映像を通じて宇治茶の歴史を気軽に学べる「茶づな」。ミュージアムだけでなく、ほうじ茶作りや茶筒作りなど、お茶にまつわる体験もできます。旅のしるしに、ここでしか手に入らないお土産もゲットしていきましょう。営業時間：午前9時から午後5時（ミュージアム最終入場時間は午後4時30分）休館日：なし ※施設点検、気象情報などで臨時休業をする場合があります。



京たなべ玉露庵

【玉露の淹れ方、抹茶の点て方を体験】

予約なしで京田辺市特産品の京田辺玉露の淹れ方や抹茶の点て方を囲炉裏のあるゆったりとしたスペースで体験できます（要体験料（お菓子付き））。京田辺ブランド一休品（京田辺市特産品）の販売やレンタサイクルの貸し出しも。営業時間：午前10時～午後4時 定休日：月曜および年末年始



海住山寺

日本遺産

【国宝五重塔が佇む静かな山寺】

南山城エリアのお茶の生産は、鎌倉時代に海住山寺（かいじゅうせんじ）にいた高僧・慈心上人が、茶の種子を現在の和束町原山に栽培したことが始まりといわれ、お茶とのゆかりから日本遺産の構成文化財となっている海住山寺。豊かな自然に包まれた境内で、心が澄み渡るようなひとときを。【拝観時間】：午前9時～午後4時30分



西ノ山展望広場

【茶畑のスケールを実感！】

京都府内最大級の集団茶園が見渡せる展望デッキ。広場内には「ハートキューブ」が設置されており、ファミリーや友人、恋人同士の休憩場所にぴったりです。



和束茶カフェ

【和束茶を買うならここ！】

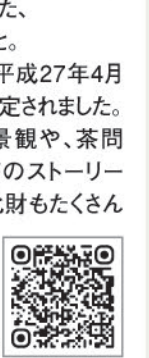
和束茶と和束茶スイーツを味わえるカフェ&ショップ。京都府産茶葉の約45%を生産している和束町の生産者のこだわりのお茶を集めた直売所。お茶だけでも140アイテム、他にも「お茶の佃煮」や「お茶のふりかけ」「お茶のクッキー」「お茶のアイスクリーム」など、地元和束産のお茶に特化した商品がたくさん！営業時間：午前10時～午後5時（LO午後4時30分）冬季期間の平日のみ午前10時～午後4時30分（LO午後4時）

【ストーリーにも注目！】

日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」

お茶の京都エリアは、「抹茶」、「煎茶」、「玉露」が生まれた、日本茶のふるさと。文化庁により、平成27年4月に日本遺産に認定されました。美しい茶畑の景観や、茶問屋街など、お茶のストーリーを構成する文化財もたくさんあります。

ストーリーや構成文化財の詳細はこちらから▶



11 松花堂庭園・美術館

寛永行幸



【約40種類の竹と3つの茶室がある回遊式日本庭園】

江戸時代初期・華やかな寛永文化の中心となって活躍した文人僧・松花堂昭乗（1584～1639）ゆかりの松花堂庭園。草庵「松花堂」、泉坊書院などの文化財と築山で構成する内園（国名勝）（令和8年度末まで整備工事中につき、観覧不可）、三つの茶室を配する回遊式の外園で構成される2万2千㎡の広大な庭園。梅、桜、椿、青もみじ、紅葉など、四季を通した景観が楽しめる。庭園に隣接する京都吉兆松花堂店では、松花堂弁当を味わうことができる（※要予約）

開園・開館時間：午前9時～午後5時（最終入園・入館は午後4時30分まで）

休園・休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）および12月27日～1月4日



平等院

©平等院

【池に映る鳳凰堂はまるで極楽浄土】

光源氏のモデル・源融から藤原道長が譲り受けた別荘を、息子頼通が寺院として開創。屋根に鳳凰を据えた阿弥陀堂は通称・鳳凰堂と呼ばれ、10円硬貨の柄でおなじみ。26体の雲中供養菩薩像を展示するミュージアム鳳翔館も併設。世界遺産。



黄檗山萬福寺

日本遺産

寛永行幸

【創建当初の姿が残る貴重な禅寺】

中国・明朝様式の伽藍が見事な萬福寺。令和6年12月には、法堂・大雄寶殿・天王殿の3棟が国宝に指定された。一般的な日本の寺院では見かけない建築様式やデザインが随所に用いられている。開祖である隠元禪師が中国から伝えた精進料理「普茶料理」もここで味わえる（要予約）。



石清水八幡宮

寛永行幸

【伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟】

都の裏鬼門（南西）を守護し、「やわたのはちまんさん」と親しまれている。平成28年、現存する最古で最大の八幡造りの本殿など本社10棟と、棟札3枚が国宝に。また、エジソンがこの地の竹を用いて電球を実用化した縁から、エジソン記念碑が設置されている。南総門開閉時間：午前6時から午後6時まで（年末年始は変動）御札、御守、御朱印、御祈祷受付：午前9時から午後4時（年末年始は変動）



酬恩庵（一休寺）

寛永行幸

【一休さんが晩年を過ごしたお寺】

室町時代の禅僧・一休宗純ゆかりの「一休寺」。江戸時代初期の代表的な庭として国の名勝に指定されている方丈庭園は、南庭、北庭、東庭があり、それぞれの趣の違いも楽しめる。【拝観時間】：午前9時～午後5時（宝物殿は午前9時30分～午後4時30分）



浄瑠璃寺

【極楽世界を表現する庭園と九体仏】

本堂に入ると、ずらりと並ぶ九体の阿弥陀如来。平安時代のまま現存するのはここ浄瑠璃寺だけ。大変貴重な国宝を、間近で拝観できる。【拝観時間】午前9時～午後5時（3月～11月）※本堂拝観受付は午後4時30分まで 午前10時～午後4時（12月～2月）※本堂拝観受付は午後3時30分まで



万灯呂山展望台

日本遺産関連

【展望台から絶景を望む！】

かつて雨乞いの儀式が行われたという万灯呂山（まんどろやま）。標高300mの山頂からは、学研都市の街並みや日本遺産形成景観の飯岡の茶畑も眺められます。道中は舗装路ですが、ワインディングもいい感じ！道中には森の茶園も広がります。



笠置寺・笠置山自然公園

【弥生時代から続く巨石信仰と雲海の山】

木津川の南岸にそびえる笠置山は、古くからの修験道場、信仰の山として知られています。花崗岩から成る山中には奇岩や怪石が数多く、神秘的なムード。紅葉の名所でもあり、急激に朝晩が冷え込む時期の早朝には、雲海が現れることも。【拝観時間】：午前9時～午後4時